



席に置いてくれたという。
震災で大きな被害を受けた三陸鉄道は現在、運転再開しているのはごく一部だけだ。

「三陸鉄道は通勤通学の『足』として必要不可欠ですし、高齢の方の『足』になっていきます。最近では観光の目玉となっていたところでもあり、早期の全面復旧は地域みんなの願いです。」川代さんは三鉄の早期再開を願う。

●ありがたい三鉄応援の声……

震災の被害は甚大だったが、県内外の多くの方々から暖かい応援があったという。「大変ありがたかったです。『つながるんだらま』も多くの人が買っていたできました。だるまに書かれていたメッセージを読むたびに、涙が出るほどうれ

しいです。」と三陸鉄道久慈駅の橋上和司駅長は語る。

震災の前から三陸鉄道は地域の支援があったが、震災以降はその応援の輪が一層大きくなっている。

「地域のNPOの皆さんは、本当に心から三陸鉄道を応援してくれています。さんてつ・北リアス緑市でもそれを感じました。」と橋上駅長は感謝する。

●地域の『足』、観光のインフラ……

鉄道は、人と人を結ぶものであり、地域住民の足でもある。また、鉄道は、観光客に第二のふるさとを与えることもあるなど、今後もなければならぬインフラだ。そして、三陸鉄道の復旧は、震災からの復興のシンボルになる。
「三陸鉄道としても、県北のこの地域

Volunteer spirit

助成金情報

「東日本大震災 現地NPO応援基金」 第2期助成

1 助成の趣旨

「被災者の生活再建を支援する現地NPOの組織基盤強化」をテーマにした助成。
※ 組織基盤強化…今後の活動を充実していくために組織の力をつけていくこと。

NPOの人的基盤、財政的基盤、情報基盤など運営基盤の整備が主な課題。

2 助成の対象となる団体

(1) 岩手県、宮城県、福島県において直接被災者の生活再建を支援する

〔現地NPO〕

※ 現地NPO…各地域の市民が自発的に活動する民間非営利組織。

草の根の小さな任意団体を含み、法人格の有無や種類は問わない。

(2) (1)の活動を行う団体の「現地ネットワーク組織」または「現

地中間支援組織」

3 助成の概要

〔助成期間〕

応募日に応じて、1月、4月、7月、10月初日から1年間以内

〔助成金額〕

1件当たり500万円以内

〔助成金使途〕

人件費を含め組織基盤を強化するために必要な費用

人件費は、1人25万円/月を上限とした12カ月以内の給与を対象

(社会保険の団体負担分、通勤交通費等は対象外)

〔応募方法〕

応募用紙を日本NPOセンターのWEBサイト (<http://www.jnpoc.net>、P.O. No.1994) からダウンロードし、必要事項を記入の上、応募先に郵送してください。

にもっと入り込んで、地域の皆さんと話し合いながら、地域のためにお役に立てる事業を企画していきたいと考えています。」
橋上駅長の復興に向けた決意は固い。

さんてつ・北リアス緑市 実行委員会

住所：〒028-0051
岩手県久慈市川崎町13番1号
(久慈市勤労青少年ホーム内)
NPO 法人 やませデザイン会議内
TEL：0194-61-3229
FAX：0194-61-3230
E-mail：yamase@mx6.tiki.ne.jp
<http://www.i-yamase.net/>

〔応募期間〕

2011年11月1日～2012年8月31日までの期間、随時。

●事業についての詳細はこちら

<http://www.jnpoc.net/?p=1994>

問合せ・応募先

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド
〒100-0004
東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル267-B
TEL：03-3510-1221
FAX：03-3510-1222
<http://www.civifund.org/>
E-mail：ksakamoto@civifund.org